

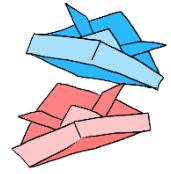


二俣川小だより

～笑顔いっぱい 友達いっぱい～

5月号

横浜市立二俣川小学校 令和4年4月26日



校長 泉 太郎

半袖で過ごせるような暑い日があれば、雨模様の日が続くなど、天候が目まぐるしく変化する今日この頃です。しかし、校庭の木々に目を向けると葉の緑は色濃く鮮やかになり、季節は春から初夏へ移りつつあることを感じます。保護者の皆様には、お忙しい中、個人面談にご来校いただきありがとうございます。入学・進級したお子さんの様子についてお話をさせていただくことで、これからお子さんの指導・支援をする上で、とても有意義な時間となっています。

令和4年度がスタートし早1ヶ月。入学・進級した子どもたちは、新しい学級や友達、担任に少しずつ慣れ、学校生活に意欲的に取り組んでいます。校舎を回りながら各学級の様子を見ると、どの学級も落ち着いて学習や活動に取り組んでいる様子がうかがえます。廊下ですれ違った時なども、自ら進んであいさつをしてくれる子どもが多く温かい気持ちになります。よいスタートを切ることができたと感じています。しかし、多くの子どもたちは、期待と共に不安や緊張の中で過ごしてきたことでしょう。心身ともに疲れも出ていると思います。4月29日から始まるゴールデンウィークは、3年ぶりに緊急事態宣言の出ていないものとなり、ご予約を組まれているご家庭もあると思います。ぜひ有意義な時間を過ごしていただくと同時に、お子さんの心身の疲れを回復させる休みであってほしいとも思います。ぜひ、この1ヶ月の学校生活の様子をお子さんからゆっくり聞く時間などもっていただきたいです。5月末には「二小運動会」があり、それに向け練習も本格的に始まります。ぜひ、連休明けも、よいスタートを切ることができるよう、励ましの声をかけていただければと思います。



「笑顔いっぱい 友達いっぱい」の二俣川小学校にするために

二俣川小学校には私の大好きな「笑顔いっぱい 友達いっぱい」という目指す子どもたちの姿を分かりやすく表現したキャッチフレーズがあります。1年生には入学式で、2年生から6年生には朝会で、「笑顔いっぱい 友達いっぱい」の二俣川小学校にするために「あいさつ」「なかよし」「やくそく」を大切にしてほしいという話をしました。もちろん「あいさつ」一つをとっても1年生と6年生では求められるものは違います。1年生では身近な家族や学級の友達、担任の先生とのあいさつから始まり、学年が上がるとあいさつをする対象となる自分に関わりのある人が増え、高学年では単に挨拶をするだけでなく、時と場に応じたあいさつの仕方なども求められます。様々な機会を通して子どもたちに「あいさつ」「なかよし」「やくそく」を意識させていきたいと思います。そして、だれもが「笑顔いっぱい 友達いっぱい」の二俣川小学校になるように教職員と共に教育活動に取り組んでいきます。

新年度がスタートし1ヶ月。はじめにも触れましたように、子どもたちは、期待と共に不安や緊張の中で過ごしてきました。ご家庭でもお子さんの学校での様子が気になるころだと思えます。お子さんを見守る中で気になるころがありましたら、ぜひ担任や児童支援専任教諭にご相談ください。ご家庭と共通理解を図り、その後のお子さんの支援・指導につなげていきます。

